

第 2 期浜松市総合戦略基本目標達成に向けた取組

基本目標	I 若者がチャレンジできるまち
-------------	-----------------

部 局	産業部
------------	-----

I-1 地元産業力の強化

第 2 期総合戦略の取組

(1) イノベーションの連鎖を生み出す新産業の創出と既存産業の高度化

ア 「ものづくりのまち」の次代を担う成長産業へのチャレンジ支援

重要業績評価指標 (KPI) 【単位】	現状値	目標値
粗付加価値額 (従業員 4 人以上の事業所) 【百万円】	777,960 (2017 年)	820,930 (2024 年)

(3) ベンチャー支援、新規創業・就業のチャレンジサポート

ア ベンチャー支援 (新規)

重要業績評価指標 (KPI) 【単位】	現状値	目標値
首都圏等から誘致したベンチャー企業数 【件/年度】	1 (2019 年度)	12 (2024 年度)

イ 創業希望者への相談・情報提供の推進

重要業績評価指標 (KPI) 【単位】	現状値	目標値
創業支援事業に伴う新規創業者数 (法人+個人) (累計) 【件】	1,075 (2018 年度)	3,325 (2024 年度)

(産業振興課)

- ・「ものづくりのまち」の次代を担う成長産業へのチャレンジ支援として、産学官金が連携し、既存産業の高度化、高付加価値化、成長市場・新産業の創出を目指す、産業イノベーション推進事業を推進する。
- ・産業支援機関である(公財)浜松地域イノベーション推進機構による相談対応、特に、生産性向上等を目指す中小企業については、本年4月に設置したワンストップ相談窓口である「スマートものづくり支援デスク」の専門アドバイザー等による相談対応や、コーディネーターを中心とした個別企業の訪問を実施し、中小企業の技術向上や経営改善に向けた、きめの細かい支援を行う。
- ・次世代自動車センターにおいて、地域の輸送用機器関連中小企業の自動車の電動化等への取り組みを支援する他、フォトンバレーセンターにおいて光・電子における中小企業の製品開発支援や人材育成等を行う。

- ・浜松市においては新産業創出事業費補助金等を実施し中小企業の新技術・新製品開発を支援することで、地域の中小企業の競争力の向上を図り、粗付加価値額の増加に繋げる。
- ・本年7月に内閣府「スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市」に認定されたことを追い風に、首都圏企業の本市への誘致活動や市内での新規創業者数の増加を図る。
- ・ファンドサポート事業、実証実験サポート事業などにより、ベンチャー企業の課題である資金調達や、実証フィールドの獲得を支援し、また、ベンチャー企業のアイデアと地域のものづくり企業の技術のマッチング支援等を行うことで、ベンチャー企業にとって、本市が事業化を図る上で優位であることをアピールし、首都圏企業の本市への誘致に繋げる。
- ・開設後5年を過ぎ、ワンストップ型の創業支援窓口として順調に実績を重ねている「はままつ起業家カフェ」について、引き続き創業支援を行うことで、本市における創業件数の増加を図る。

I-2 労働供給力の開拓

第2期総合戦略の取組

(1) 次代の産業人材の確保

ア U I J ターン・地元就職支援

重要業績評価指標 (KPI) 【単位】	現状値	目標値
マッチングアドバイザー派遣事業による内定者数 【人/年度】	39 (2018 年度)	90 (2024 年度)

(2) すべての人が活躍できる就労支援

ア 女性の就労支援

重要業績評価指標 (KPI) 【単位】	現状値	目標値
支援女性の就業率 【%】	41.0 (2018 年度)	50.0 (2024 年度)

(3) 誰もが働きやすい雇用環境の整備

ア 働き方改革等の推進

重要業績評価指標 (KPI) 【単位】	現状値	目標値
ワーク・ライフ・バランス等推進事業所認証事業所数 【社】	88 (2019 年度末)	100 (2024 年度末)

(産業総務課)

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、東京在住の20代若者の地方移住への関心が高まってきていることから、首都圏等の学生などに市内企業情報の提供や個別に就職相談を行う全国的にも好事例と評価の高い「マッチングアドバイザー派遣事業」や、求人・求職登録数が共に2,000を超えた「浜松就職・転職ナビJOBはま!」の認知度をさらに高めるため、若者の情報収集ツールであるWEBを活用した動画配信などの情報発信を充実させ、リアルとデジタルの両面での支援により、U I J ターン就職を促進する。
- ・働くことを希望する女性が希望に応じた働き方を実現できるよう、結婚や育児をきっかけに離職した女性に対する就労支援を行うとともに、働き方改革等の取組を推進するため、ワーク・ライフ・バランス等に配慮した職場環境づくりを行おうとする事業者へのアドバイザー（社会保険労務士）の派遣やワーク・ライフ・バランス等推進事業所を幅広い業種へ積極的に周知・啓発することで、すべての人が活躍できる労働環境の整備を進め、地域を担う産業人材の確保に繋げる。

第2期浜松市総合戦略基本目標達成に向けた取組

基本目標

I 若者がチャレンジできるまち

部 局

産業部 農林水産担当

I-1 地元産業力の強化

第2期総合戦略の取組

(1) イノベーションの連鎖を生み出す新産業の創出と既存産業の高度化

エ 農林水産業のスマート化、多角化などの推進

重要業績評価指標 (KPI) 【単位】	現状値	目標値
木材生産量【万m ³ /年】	11.8 (2018年)	18.1 (2024年)

(林業振興課)

- ・ 木材生産量を増加するために、FSC 森林認証制度に基づく持続可能な森林管理を推進するとともに、森林経営管理制度による新たな森林管理システムを構築し、適切な森林整備に取り組む。
- ・ 高性能林業機械の導入や森林作業道の開設等を支援し、林業経営の高度化及び低コスト化を図るとともに、航空レーザー測量の実施等スマート林業による林業イノベーションを推進し、生産性・安全性・収益性の向上を図る。
- ・ 天竜材の流通・販路を拡大するために、森林環境譲与税を有効に活用した天竜材の「地産地消」・「地産外商」を積極的に推進し、林業・木材産業の成長産業化を図る。

第2期浜松市総合戦略基本目標達成に向けた取組

基本目標

Ⅱ 子育て世代を全力で応援するまち

部 局

こども家庭部

Ⅱ-1 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

第2期総合戦略の取組

(3) 待機児童の解消と子育て支援の充実

ア 保育施設・放課後児童会の拡充

重要業績評価指標 (KPI) 【単位】	現状値	目標値
保育所など利用待機児童数【人】	31 (2019年4月1日)	0 (2020年4月1日以降)

ウ 子育てに対する不安や負担の軽減

重要業績評価指標 (KPI) 【単位】	現状値	目標値
子育て中の市民が「子育てがしやすくなっている」と感じる割合【%】	49.8 (2019年度)	54.0 (2024年度)

(幼児教育・保育課)

- ・第2期浜松市子ども・若者支援プラン（計画年度：令和2年度から令和6年度）に基づき、既存施設の利活用、保育所等の新設、地域型保育事業の募集により定員を拡大するとともに、認証保育所の利用者に対する助成事業や幼稚園型一時預かり事業等を推進し、待機児童の解消に努める。

(次世代育成課)

- ・第2期浜松市子ども・若者支援プランに基づき、各事業が計画的に推進されるよう、毎年、点検・評価と見直しを行う。
- ・子育てに関する相談事業の充実、ひとり親家庭など様々な困難を抱えるご家庭への支援、子供や女性が安心して暮らすための取り組み等のほか、母子医療支援や教育現場における発達支援・障害児支援なども含めた多様な施策を包括的に進めていくことで、子育てに対する不安や負担の軽減に努める。

第2期浜松市総合戦略基本目標達成に向けた取組

基本目標

Ⅱ 子育て世代を全力で応援するまち

部 局

学校教育部

Ⅱ-1 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

第2期総合戦略の取組

(3) 待機児童の解消と子育て支援の充実

ア 保育施設・放課後児童会の拡充

重要業績評価指標 (KPI)【単位】	現状値	目標値
放課後児童会利用待機児童数【人】	471 (2019年5月1日)	0 (2022年5月1日以降)

(教育総務課)

- ・学校施設の積極的な活用や近隣施設の利用、専用施設の建設等を計画的に進め、開設箇所を増設し、定員の拡大を図る。
- ・運営方式の統一を段階的に進め、支援員等の処遇を改善し、人材確保を図る。

Ⅱ-2 「創造都市・浜松」を担う次代の育成

第2期総合戦略の取組

(2) 地域の力を活かした市民総がかりのひとづくり

イ 郷土愛をはぐくむ教育の実践

重要業績評価指標 (KPI)【単位】	現状値	目標値
自分が住んでいる地域が好きな子どもの割合【%】	91.5 (2019年度)	95.0 (2024年度)

(指導課)

- ・夢と希望を持ち続ける子供を育成するため、家庭、地域との連携を図りながら、地域や子供の実態に応じた、特色ある学校づくりを推進するとともに、地域や学校ならではの「郷土愛」や「やらまいか精神」を醸成する活動を実施する。
- ・それらを通して、子供たちが「浜松の良さ・強み」を感得し、自分らしさを発揮しながら、浜松を支え活躍する人材を育成するため、「夢育やらまいか事業」を実施する。

第2期浜松市総合戦略基本目標達成に向けた取組

基本目標

Ⅲ 持続可能で創造性あふれるまち

部 局

産業部 観光・ブランド振興担当

Ⅲ-2 にぎわいの創出

第2期総合戦略の取組

(2) 浜松・浜名湖ブランドの確立による交流人口・関係人口の拡大

ア ブランドの確立

重要業績評価指標 (KPI) 【単位】	現状値	目標値
市町村別認知度ランキング (全国順位) 【位】	28 (2019 年度)	15 (2024 年度)
市町村別魅力度ランキング (全国順位) 【位】	44 (2019 年度)	30 (2024 年度)

イ 国内外からの交流人口の拡大

重要業績評価指標 (KPI) 【単位】	現状値	目標値
観光交流客数 【万人／年度】	1,881 (2018 年度)	2,200 (2024 年度)

(観光・シティプロモーション課)

- ・ 認知度・魅力度ランキングや観光交流客数の上昇を目指し、訴求するターゲットを絞り込み、SNS の発信力、影響力のある企業、有識者など、多様な媒体をフル活用した戦略的なプロモーションの実施によりブランドの確立を図る。
- ・ 国内外からの交流人口を拡大するため、本市及び本市観光資源の認知度向上に向けた動画プロモーションの実施など、デジタルマーケティングを積極的に推進する。

第2期浜松市総合戦略基本目標達成に向けた取組

基本目標

Ⅲ 持続可能で創造性あふれるまち

部 局

健康福祉部 医療担当

Ⅲ-3 支えあいによる地域社会の形成

第2期総合戦略の取組

(3) 政令指定都市トップの健康寿命の延伸

ア 市民一人ひとりの予防や健康づくりの推進

重要業績評価指標 (KPI) 【単位】	現状値	目標値
健康寿命【歳】	男 73.19 歳、女 76.19 歳 (2016 年)	男 73.98 歳、女 76.94 歳 (2024 年)

(健康増進課)

- ・今年度から、健康寿命政令指定都市トップなどの本市の強みをさらに伸ばしていくため、2つの官民連携プラットフォーム（浜松ウエルネス推進協議会、浜松ウエルネス・ラボ）を核とした浜松ウエルネスプロジェクトを推進する。
- ・浜松ウエルネス推進協議会では、地域の医療機関、大学、商工会議所を始めとした関係団体、金融機関、地域企業の皆様と共に、①参加団体・企業のネットワークを活かした新たな形による疾病・介護予防や健康づくりに関する事業、②地域企業の健康経営を推進する事業、③ウエルネス・ヘルスケアビジネスの育成・創出に向けた事業等を推進する。
- ・浜松ウエルネス・ラボでは、地域外の大企業等とともに、市民の生活習慣病予防や認知機能の改善、健康増進等に寄与する“浜松発”の様々な社会実証事業などを実施し、今後の施策展開に活用できる各種データやエビデンス等を取得・蓄積していく。

第2期浜松市総合戦略基本目標達成に向けた取組

基本目標

Ⅲ 持続可能で創造性あふれるまち

部 局

デジタル・スマートシティ推進事業本部

Ⅲ-5 持続可能な都市経営

第2期総合戦略の取組

(2) 持続可能で多様性のある社会の実現

イ デジタルファーストによる都市づくり

重要業績評価指標 (KPI) 【単位】	現状値	目標値
官民のオープン化されたデータを活用したアプリケーション等、新サービス・アイデアの発案件数 累計【件】	新規	35 (2024年度)

(デジタル・スマートシティ推進事業本部)

- ・ デジタル・スマートシティを推進する官民連携プラットフォームにおいて、多様な主体を巻き込み、分野間連携やデータ利活用を促進する。
- ・ データ連携基盤「FIWARE (実証環境)」を活用した実証実験プロジェクト「Hamamatsu ORI-Project」により、新たなサービスソリューションの社会実装につなげる。
- ・ 浜松市モビリティサービス推進コンソーシアムにおいて、会員主導のプロジェクトの創出に向け、実証実験や社会実装に向けた取り組みを支援する。